

ジャパンホームシールドはLIXILグループのメンバーです

私たちは、優れた製品とサービスを通じて、豊かで快適な住生活の未来を創造する住まいと暮らしの「総合住生活企業」です。

LIXILグループ国内主要会社  
 株式会社LIXIL(トステム、INAX、新日軽、サンウエーブ、TOEXの5ブランドを携え2011年4月に発足しました)  
 株式会社LIXILビバ / 株式会社川島織物セルコン / 株式会社LIXIL住宅研究所 / ハイビック株式会社  
 株式会社日本住宅保証検査機構 / 株式会社LIXILリアルティ 他

■ 会社概要

社名 ジャパンホームシールド株式会社  
 設立 1990年3月1日  
 本社 〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア17F  
 TEL.03-5624-1545(代表) FAX.03-5624-1544  
 支店 札幌・東北・北関東・東関東・西関東・中部・関西・中四国・九州  
 事業内容 地盤調査及び関連業務、地盤補強業務、地盤環境診断業務、建物検査業務

地盤調査実績 累計65万件(2012年9月現在)

国土交通省 登録建築物調査機関第32号  
 一級建築士事務所 東京都知事登録第57395号

ジャパンホームシールド株式会社

〒130-0026 東京都墨田区両国2-10-14 両国シティコア17F  
 TEL. 03-5624-1545 FAX. 03-5624-1544  
<http://www.j-shield.co.jp>

■ JHS FC店

ピュアパイル工法

2012.12

スピーディでストロング  
 環境にも優しい地盤補強工法

ピュアパイル工法  
 Pure Pile Method



# +3

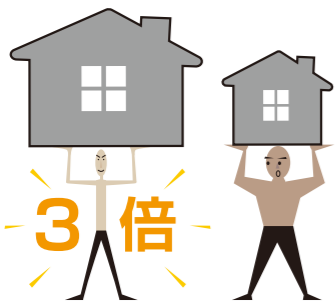
# 3つのプラスで確かな地盤補強!

セメントに土を混入させない、柱状改良工法のあたらしいカタチ!

## ■ ピュアパイル工法の3大特徴

point

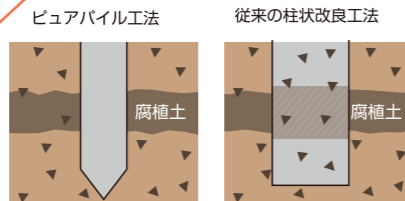
## 1 高品質・高強度で家を支えます!



3倍

### ●スリムでも力持ち

「ピュアパイル工法」の杭断面積(直径20cm)は一般的な柱状改良(直径60cm)の1/9ですが、1本あたりの杭体耐力は柱状改良の3倍程度になります。



ピュアパイル工法

従来の柱状改良工法

腐植土

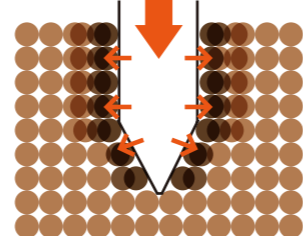
腐植土

土質に関係なく、杭の品質は常に一定。

攪拌しながら杭を作るので土質によって品質(強度)にバラツキが見られました

### ●バラツキのない品質

「ピュアパイル工法」は、現地の土とセメントを攪拌して杭を作る従来の柱状改良と違い、土が混入しないセメントのみで杭を作るため、均一で安定した強度が発揮できます。



### ●地盤を緩めません

「ピュアパイル工法」は特殊なロッドで、地盤を側方に押し広げながら掘削し、セメントのみで杭を築造します。地盤を横に押し広げるため、地盤を緩めないのが特徴です。

point

## 2 工事のコスト削減!



工期 1/2

### ●早期施工が可能

現地の土との攪拌などが不要になり、施工時間は柱状改良にくらべて約半分のスピード施工。



養生 1/5

### ●早期基礎着工が可能

養生期間が柱状改良工法にくらべ約1/5の24時間程度。早期に基礎に着工できるので、工期全体の短縮に一役買います。



残土 0

### ●残土処理費も不要

杭が細く掘削時に残土がほとんど出ないため、残土処理費用がかかりません。

point

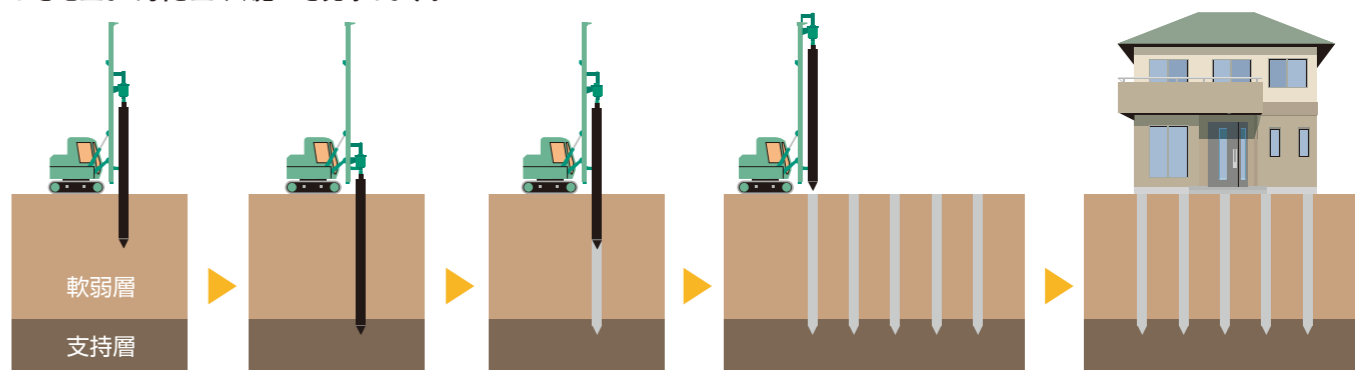
## 3 環境にやさしい工法です。



「ピュアパイル工法」は柱状改良にくらべ、セメントが含まれた掘削残土の産業廃棄物がほとんど出ないため、環境にやさしい工法です。

## ■ ピュアパイル工法の施工概要

先端に円錐型掘削ヘッドを装着した外径216mmの掘削ロッドを回転させながら支持層まで掘削した後、セメントを吐出しながら掘削ロッドを地上まで引き上げ、施工を完了します。



1 地盤を側方に押し広げながら掘削ロッドを回転させ、支持層に達するまで掘削します。

2 セメントを吐出しながら引き上げます。

3 1～2を繰り返します。

4 建築完了時。

※最大施工深さは、施工地盤面から10mとなります。  
※現場によっては本工法を施工できない場合があります。また土質により杭頭が下がり追加工事(有償)が必要な場合があります。(品質に問題はありません)

## ■ セメント100%のピュアパイル



掘り起こしたピュアパイルとその断面(写真右)土がまったく混入されていないのがわかります。

## ■ 建築技術性能証明書を取得

財団法人 日本建築総合試験所による「建築技術性能証明書」を取得していますので安心です。(GBRC 性能証明 第11-28号改)

